

(送付先) 防災訓練担当理事

## アマチュア無線 地域防災拠点 訓練報告書

横浜市アマチュア無線非常通信協力会戸塚区支部

報告日：令和 年 月 日

<b>地域防災拠点名</b>			
<b>訓練日時</b>	令和	年	月 日 HH:MM ~ HH:MM
<b>訓練参加者 (コールサイン)</b>			
<b>交信情報</b>	無線機		
	アンテナ		
	電源	※非常用電源（バッテリー等）の使用が望ましい、	
	Phone	MH z	His RS
	SSTV	MH z	HisRST

<b>連絡事項 等</b>
..... ..... ..... ..... .....

<b>地域防災拠点 アマチュア無線 備品の状況（備品を確認できた場合、チェックを入れてください） 何不備など有りましたら、括弧内に状況など記載願います。</b>	
アンテナ	<input type="checkbox"/> ( )
ケーブル	<input type="checkbox"/> ( )
変換コネクタ 2個	SMAP⇔MJ    BNCP⇔MJ <input type="checkbox"/> ( )
ポール	<input type="checkbox"/> ( )
三脚	<input type="checkbox"/> ( )
ロープ	<input type="checkbox"/> ( )
ドライバー	<input type="checkbox"/> ( )
その他	



## 横浜市総務課危機管理室 緊急対策課 発行の「地域防災拠点訓練マニュアル」の抜粋

### 「訓練5：情報受伝達訓練」

#### 1 目的

発災時には様々な情報が飛び交い、正確な情報の把握が困難となることが予想されます。このような状況の中で多数の避難者が集まる拠点においては、「区災害対策本部との連絡調整」や「拠点内部及び外部からの情報の収集・取りまとめ」、「周知が必要な情報を避難者に迅速かつ的確に伝達すること」などが求められます。

これらを実際に行えるよう、次の内容について日ごろから訓練しておくことが大切です。

- ① デジタル移動無線機を使用した区災害対策本部との連絡方法
- ② 情報の収集・整理と拠点運営委員会での情報共有方法
- ③ 避難者に対する情報提供方法

#### 2 デジタル移動無線機による通信訓練

##### (1) 実施方法

##### ア 事前準備

拠点運営マニュアルの様式「地域防災拠点開設状況報告書」、「避難者数集計表」に想定される避難者数や状況等を整理し、メモとして書き留めておきます。

なお、避難者受入訓練等と連携して実施する場合は、住民の避難状況に合わせた内容を逐次確認して状況を書き留めておきます。

### 【区本部への地域防災拠点開設報告例】

下記の内容を参考に報告訓練を行います。

「訓練放送を行います。」(または、「これは訓練です。」)

「訓練、訓練、こちらは、●●●●学校地域防災拠点運営委員会の〇〇です。」

〇時〇〇分に地域防災拠点を開設し、避難者の受入れを開始しました。」

「避難状況は〇時〇〇分現在、避難者数が約〇〇人(刻々と増えています。)です。」

また、重傷者約〇〇人、軽傷者約〇〇人がおり、さらに増加する見込みです。」

「避難場所の体育館は〇割、校舎は〇割が使用可能です。」

「電気、水道、加入電話はいまのところ使用できません。」

「周辺地域では倒壊家屋が多数あり、数箇所から火災が発生している模様です。」

「避難場所への火災の影響は現時点ではありません。」

「必要な応援や物資は調査中ですので別途報告します。」

「次の報告は、〇〇時〇〇分頃にデジタル移動無線機により実施します。」

「以上で訓練報告を終了します。」

「拠点状況報告書」のサンプル

「地域防災拠点」開設・運営マニュアルより引用（引用時に元号を改定）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/uneimanyuaru/>

- (1) 避難所開設状況報告書（様式第1号）
- (2) 被害情報収集票（様式第4号）
- (3) 避難者数集計表（様式第5号）
- (4) 必要な応援・物資等報告書（様式第6号）
- (5) 地域防災拠点状況報告書（様式第7号）
- (6) 救出が必要とされるものに関する情報票（様式第8号）
- (7) 負傷病者連絡票（様式第9号）



## 被害情報収集票

拠点名	受付日時	記入者
小・中学校	令和 年 月 日 時 分	

情報提供者の氏名	情報提供者の住所

(被害情報について、具体的に記入すること。)

## 避難者数集計表

拠点名	報告日時	報告者
小・中学校	令和 年 月 日 時 分	

## 1 集計方法及び避難者動向

※ 集計方法	※ 避難者動向
<input type="checkbox"/> 職員等によって人数を数えた	<input type="checkbox"/> 避難者増加傾向
<input type="checkbox"/> 各種調査票の集計結果による	<input type="checkbox"/> 避難者減少傾向
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 不明（どちらとも言えない）

## 2 場所別避難者数

避難場所	総数	男	女	備考
<input type="checkbox"/> 校庭	人	人	人	
<input type="checkbox"/> 体育館	人	人	人	
<input type="checkbox"/> 教室	人	人	人	
<input type="checkbox"/>	人	人	人	
※ 合計	人	人	人	

## 3 負傷者数（負傷者数等連絡票の集計結果を記入）

区分	総数	男	女	備考
<input type="checkbox"/> 負傷者	人	人	人	
<input type="checkbox"/>	人	人	人	
※ 合計	人	人	人	

## 4 要援護者等避難者数（避難状況調査表集計前は、省略可）

区分	総数	男	女	備考 （当該避難所での生活が 困難な方など）
高齢者	人	人	人	
妊産婦	人		人	
乳幼児	人	人	人	
小学校低学年	人	人	人	
障害者	人	人	人	
外国人	人	人	人	

(注1) 各種調査票等を実施していない時点では、概数で報告してください。

(注2) (注2) ※欄は、必ず記入すること。





## 地域防災拠点状況報告書

第2報以降は、既に報告してある事項については、「変更なし」と記載すること。

拠点名	報告日時	報告者
小・中学校	令和 年 月 日 時 分	

## 1 運営委員会・職員等参集状況

区分	人数	氏名	
運営委員会	人	委員長	副委員長
		班員	班員
		班員	班員
学校職員	人	校長	副校長
		教職員	教職員
学校拠点班	人	リーダー	班員
		班員	班員
		班員	班員

## 2 連絡手段の確保状況

区分	番号	区分	番号
固定電話		デジタル移動無線	
ファクシミリ		その他	

## 3 避難状況

避難者の有・無	有(約 人) ・ 無
---------	------------

## 4 避難所開設の必要性・理由(震度5強未満でも開設の必要があるとき等)

避難所開設 の必要性	
上記選択理由	

## 5 その他の環境

ライフライン	電気	不通 ・ 開通 ・ 予定( )
	水道	不通 ・ 開通 ・ 予定( )
	ガス	不通 ・ 開通 ・ 予定( )
	下水道	不通 ・ 開通 ・ 予定( )
トイレ	使用状況	使用不可 ・ 使用可( 箇所)
	清掃・汲み取り	不良 ・ 普通 ・ 良
	手洗い場	無 ・ 有
	手指消毒	無 ・ 有
食事の供給	1日の食事回数	1回 ・ 2回 ・ 3回
	炊き出し	無 ・ 有
	残品処理	不適 ・ 適

## 6 周辺の状況

周辺の状況	(参集時の状況や学校周辺の被害状況等を具体的に記入すること。)
-------	---------------------------------

## 7 必要な応援等

本市職員	
ボランティア	(記入例：中国語の通訳ができるボランティア1人)
その他	(記入例：し尿くみ取り業者の派遣を至急要請する。)

## 救出が必要とされる者に関する情報票

拠点名	報告日時	報告者
小・中学校	令和 年 月 日 時 分	

受付時間	氏名	住所	性別	現場の状況 本人の特徴等(身長、着衣他)
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	
			男 ・ 女	

## 負傷者 等連絡票

拠点名	報告日時	報告者
小・中学校	令和 年 月 日 時 分	

受付時間	氏名	住所	性別	区分	けが・病気の具合	備考(処置等)
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		
			男 ・ 女	けが ・ 病気		